

1912年 大正元年(7月30日~12月31日) 壬子 ※1月1日~7月29日 明治45年

8	10	一丁目十字路と島田停車場間の新道開通 大井神社境内へ日清日露戦役記念之碑建立完成除幕
12	24	伊太耕地整理組合工事着手
	28	島田電柱税賦課條例制定許可さる 東光寺、大草地内県費補助砂防工事着工 島田町内で腸チブス発生蔓延 島田町で町内車輛の一斉調査。乗用馬車 9、荷馬力 7、人力車 27、荷車大 75、中小 551、自転車 155

1913年 大正2年 癸丑

4	7	六丁目劇場開盛座から出火付近住家数戸類焼、興行中の衣装方 2 人が焼死した 藤枝区裁判所島田出張所が静岡区裁判所島田出張所となる
5		付近農村の茶園一帯へ赤壁病発生して蔓延被害多大 向谷地先大井川堤防添へ大井川製材工場など製材製函工場続設 横浜市月岡町阿部敏郎大長地域 97 万 5,800 坪を鉦区として、試掘方出願
12		大井川木材商同業組合で関係業者調査発表。木材営業者 123 名、木材周施業者 29 名、製材原料立木売買業者 213 名、同周施業者 76 名、製材業者 36 名、製函業者 9 名、川狩業者 10 名、計 496 名 一丁目の日蓮宗正覚寺本堂改築落慶

1914年 大正3年 甲寅

3	3	大井川水防組合では沿岸各町村へ水防組を設けた
6	-	下旬頃から7月へかけて付近の農村茶園一帯へ苦瓜虫・赤壁病・ウンカが続発し被害が大きく農家を苦しめた
8	29	日独戦争勃発、宣戦詔勅降下動員下令。戦死者島田町 2 名、六合村 1 名 8月29日から30日へかけて暴風雨。農作物建物などの被害甚大
9	24	初代島田町長八木昇氏歿、58歳
10		最後の川庄屋であった飯塚為人は江戸時代の島田町史を脱稿 千葉へ村立実業補習学校設置開校 坂本松林寺の寺格昇格

1915年 大正4年 乙卯

1	21	六合村は御大典事業として東光寺の山林 120 町 8 反 5 畝 25 歩の払下を得植林
2	28	我が国最初の大飛行坂本、沢田の両中尉の 2 機雁行して島田町の上空を通過した
4	1	横井が独立して区となった
	3	大津小路へ劇場大正座竣工開場 郡会議員選挙各町村当選者は、酒井次郎三・石間愷・秋野雅太郎・八木鉄蔵(島田町)塚本熊次郎(六合村)金沢喜一郎(大津村)坂本正巳(伊久身村)三浦茂登次・森下利一郎・堀本美之作(初倉村)山田竹次郎(大長村)

		大井神社の神池竣工し神域を大井公園と名付けた 島田町男子部・女子部両小学校及び青年会に図書館が出来た
9	24	森淑県会議員当選 中稲晩稲及び茶園へウンカが大発生した
10	23	島田町の町章が制定された
	30	六合実業補習学校の設立認可
12	6	塚本熊次郎県会議員へ補欠当選

1916年 大正5年 丙辰

1	17	六合青年夜学会は実業補習学校へ合併された
2	4	大津村々有林が確定した
	25	大津村全村の耕地整理事業が完成竣工した 神座大井神社境内へ八木氏遺功碑が建立された
5	10	島田町実業補習学校の設立許可 六丁目へ劇場実座建設竣工開場
8	8	先覚者飯塚為八(号九如)氏歿、76歳
10		向谷水神山大井川堀抜水門の修復完成

1917年 大正6年 丁巳

5	18	まれな大地震発生。被害皆無 従来の役場老朽して狭隘不便のため森家の西隣へ新築移転
	10	六合村道悦島へ忠魂碑建立(八幡神社境内) 大津村全村内各戸へ電灯点火。10燭1灯40銭、5燭1灯30銭
8		男子部小学校講堂で仏教大講演会開催。講師忽滑谷快天新井石禅両文学博士
10	1	栃山川大洪水、栃山付近一帯の被害甚大 横井の島田紡績所は東京市の東洋紡織株式会社へ売却されて工場名を害された
11	1	大井川通船組合と、木材商同業組合との間に川狩関係のことから大きな紛争が勃発した

1918年 大正7年 戊午

1	20	各種新聞取次販売業山谷宗重が、地域新聞週刊紙太陽新聞発行
3	24	六合村で隔離病舎が設置を許可されて着工7月30日完成
4	1	島田町外3カ村組合立実科高等女学校、設立申請。修業年限4年、定員200名
5	24	向谷水神社が大井神社の境内に御治定となる
6	25	初倉村旧村長今井信郎為忠氏歿、78歳
7	19	米騒動勃発。静岡から軍隊出動して町内を警戒し未発に終わった
8		丸青島田青果株式会社設立
10		大津村農業同志会設立 島田第1(男子部)小学校々庭で第1回庭球大会を開催 大津村尾川法蔵寺本堂落慶
11	27	大井川木材川狩組合設立、組合長天野廉

12		初倉村実業補習学校へ女子部を設置した
----	--	--------------------

1919年 大正8年 己未

4	8	島田、大津、大長、六合1町3カ村実科高等女学校創立。仮校舎で授業開始。初代校長田尻長兵衛
5	7	森勇一宗教紙めぐみの光発行。大正13年5月27日、福音新聞と改題した
7		志太郡下の町村農家へ梨の植栽が盛んとなり梨業組合が結成された
9		天野卓・石間英太郎県会議員に当選 郡会議員選挙。当選者は次の通り。杉村嘉太郎・桜井定平・戸塚貢・鈴木金苗(島田町)河村久一(六合村)金沢喜一郎(大津村)大塚喜四郎(大長村)坂本正巳(伊久身村)杉村松四郎・榛葉一太郎(初倉村)
11	24	蘭契会結成最初の事業として男子部小学校講堂で洋楽大演奏会開催
	22	詩人置塩維寧(環山)氏歿、75歳
12	10	組合立実科高等女学校を志太郡島田実科高等女学校と学校名を変える

1920年 大正9年 庚申

1	24	島田銀行の創立者秋野橘太郎氏歿、75歳
3	11	県知事関屋貞三郎島田尋常高等小学校を視察
8	16	川原町で仮設の自転車競走場を設け開催中観覧席が倒れ子供2人圧死
9	9	豪雨のため白岩寺裏山崩壊し麓の田畑埋没被害甚大 大井川支流の木材川狩規則を制定

1921年 大正10年 辛酉

1		六合村初代村長町井平四郎氏歿
2	11	島田青年会は創立10周年記念式を行い、マラソン王と称された金栗四三を招き島田町小学校と青島町三軒屋間の記念マラソン大会開催
3	31	島田青年実業補習学校廃止
4	1	島田町役場で町史の編纂準備着手。この日から郡制が無くなった 私設鶴ヶ谷消防組が公設へ編入されて第八部となる
5	9	県立となった島田高等女学校が校舎を稲荷島へ建設竣工完成移転
6		県下実業野球大会で東海紙料チームが優勝
7	28	島田町立第一実業補習学校の設立許可される
10		初倉村各部落の消防組を統合して初倉村消防組結成発足 大井川向谷家山間へ飛行艇の営業が開始された 六合阿知ヶ谷の坂田栄次郎が七丁目へ自動車商會を設置して営業開始した。タクシー業の初めて 乗車料金1円均一で円タクと称した 宮小路法幢寺本堂再建落慶 詩人荒浪平治郎(岳川)氏歿、63歳

1922年 大正11年 壬戌

3		島田町内輪士会や陸上競技関係者の勤労奉仕で横井地先大井川原へ300mのトラックを築造した六合村で女子修養会結成発会
4	1	島田町の小学校は男子部・女子部に分れていたが男子部を第一、女子部を第二と改め男女共学に改めた
		民間飛行家根岸錦蔵、雲井龍子等川原町地先大井川原で飛行大会開催
7	8	伊太、大津、東光寺の各谷川洪水、水氾濫して田畑農作物の被害甚大
	15	祇園町須田神社境内へ尚武館完成し記念の県下柔剣道大会開催
	30	六合村隔離病舎竣工
		千葉に火災発生農家3戸焼失
9		横井グラウンドで陸上競技大会開催
10		静岡三十五銀行島田支店が勝間田銀行島田支店を合併吸収した
11	3	阿知ヶ谷の天神社境内へ広住久道の碑建立
		六合村産業組合設立。組合員408人組合長塚本松一
		五丁目の志太銀行廃業閉鎖
12	20	六合村尋常高等小学校保護者会結成される

1923年 大正12年 癸亥

1		初倉村消防組が公設消防組となった
	4	島田第一尋常高等小学校が中川原へ移転することになり工事に着手
2	17	伊久身公設消防組が設立を認可されて発足
3		大井川通船組合と川根商人組合との間に運賃値上問題から空前の紛争惹起し通船の運行停止
4	16	徳川家達は川崎町の培本塾を訪れ牧野原、谷口原の開拓茶園を視察、谷口の東照宮権現社を参拝した
5	2	千葉山智満寺の寺宝、木彫諸尊刻出龕が国宝に指定された。翌3日には大草慶寿寺の絹本、着色十六善神画像が国宝に指定された
8	3	蘭契会では暑中休暇を利用して高等女学校講堂を会場となし、会期1週間の第1回夏期講座を開講した
9	1	関東大震災発生。付近に被害なく各種団体救援活動に立ち上り木材業は復興材で好況となる
10	1	大井神社拝殿造営工事竣工
	14	天野卓県会議員当選
12	20	大津村産業組合創立。組合長金沢喜一郎

1924年 大正13年 甲子

1	4	私設向谷青年消防隊結成発足
	15	六合村女子修養会を六合村処女会と改称
2	10	中溝区へ私設中溝消防組結成、組頭中村啓司
	24	一丁目南裏から出火し、住家6戸非住家32棟を全焼
		東光寺県有林から出火し山林五十余町歩焼失
3	10	大津村では落合に忠魂碑建立除幕

	20	初倉村郵便局へ公衆電話架設
	23	島田、初倉、六合3カ町村橋梁組合を組織し、大井川谷口橋の経営権を個人経営者から譲り受け、有料組合橋とした 大津村では落合へ画家春堰の碑建立
	24	向谷で火災発生住家8戸非住家3棟を全焼 大井神社境内へ先賢碑建立 伊久身区青年会が区内の産んだ茶業の先覚者坂本藤吉の頌徳碑を生家の近くへ建立
4	1	初倉湯日尋常小学校へ高等科を設置し尋常高等小学校となる
	13	島田金谷間の大井川へ大井川橋架橋起工式挙行
7	5	大井川通船組合と川根商人組合との紛争解決、川根通船組合が出来た
8	27	有限責任川島信用購販売組合川口へ創設、組合長西本惣吉
12	8	島田町長は大井川鐵道の基点に付いて町会へ諮問、全員反対
	22	栃山川用排水路開削国営事業に着工した
	24	六合村立尋常高等小学校高等科生徒少年消防隊結成発足 横井の東洋紡織株式会社営業不振となって日本絹織株式会社へ買収され日本絹織(株)島田工場と改称された 大長村伊太の北川惣太郎島田町向谷と藤枝駅間へ乗合自動車の営業開始

1925年 大正14年 乙丑

3	10	大井川鐵道株式会社の創立総会を静岡市で開催、取締役社長中村円一郎 横井地先の荒地1町4段5畝17歩完成 岸の大日堂境内へ茶業の先覚者小長谷松五郎の建碑
4		原坪七丁目間の新道へ弘法堂出来る
6		青果物販売業者が一丸となって丸共青果海産物委託株式会社を創立した。社長鈴木松次郎
8		島田庭球クラブが結成、日本絹織株式会社島田工場の敷地内へコートを設けた 石原純が大井川蓬萊橋へ遊び即吟
9		島田町立第一実業補習学校が町立商工実務学校と改称
12	4	祇園町へ私立大塚裁縫高等女学校の設立が認可された。校長大塚野助
	17	六合少年赤十字団設立が認可された

1926年 大正15年(1月1日～12月24日) 丙寅 ※12月25日～31日 昭和元年

2	11	私設横井消防組設立発会、組員43名組頭平林内平
	28	島田第二小学校で島田・六合・大津・大長四カ町村少年赤十字団合同発団式挙行
4	14	東光寺山林の大山火事 大井川組合経営谷口橋延長410間架替完成
7	1	六合村青年訓練所設置入所式挙行
8	7	大倉喜八郎90歳で大井川上流赤石岳の頂上を極む
9	4	稀な暴風雨、被害多大
	17	野田鶴田寺で鬻供養、虎御前感謝祭を初めて行う 大津村青年警備隊結成発足

10	4	栃山川用排水路国営事業この日起工式挙行
	12	細島の生んだ義人増田五郎右衛門の義人碑を八幡神社境内へ建設竣工、除幕式挙行
11	17	善太夫島で製材工場から出火全焼
12	17	島田、六合、大津、大長 4ヶ町村青年訓練所第 1 回査閲、査閲官静岡連隊区司令官今井陸軍歩兵大佐 初倉村谷田川報徳社設立